

学校教育目標：未来に向かい 豊かな心で たくましく生きる生徒



3学期始業式の様子



「地域とつながりながら躍動の1年を」

校長

新しい年の2026年が始まり、そして、3学期が始まりました。2学期の終業式では、地道な努力とそれを支える気持ちが達成や成功を導き、「必ずできる、こうありたい」という揺るぎない信念や強い願い、諦めない気持ちがとても大切。だから、「目標に向け、諦めず、夢中に」過ごせる自分、やり抜く自分を目指してほしいというお話をしました。

さて、2026年の今年は「午年」です。午年というのは、大変縁起の良い年だそうで、それは「馬の持つ力強さ・躍動感」が理由だそうです。そのほかに「ウマくいく」といった言葉にも通じるというのも理由のようです。

振り返ってみれば、馬は昔から私たちにとって身近で頼もしい存在でした。時代劇で見たことがあるとおり、侍は馬に乗って駆け回っていましたし、シンデレラのところにもカボチャの馬車がやってきました。農業においてはトラクターが現れる以前は農耕馬が活躍していましたし、乗馬という趣味やスポーツも親しまれているところです。そんな身近で私たちの生活を豊かにもしてくれる馬のパワーをもらいつつ、今年は「躍動する1年」になることを期待したいところです。

さてその躍動にもつながるお知らせを皆さんにしたいと思います。それはコミュニティ・スクールについてのお知らせです。

「コミュニティ・スクール」という言葉を初めて聞く人も多いことでしょう。

これは何かというと、簡単に説明すると、「学校と保護者の皆様と地域の皆様が協力して、皆さん方生徒のために・学校の活動のために支援をする組織」というものになります。具体的に言うと、例えば何かの行事や授業で、地域の方々が一緒に参加して手助けをしてくれるだとか、皆さんのが何かこんなことをやりたいと思ったときに、どうすればそれが実現できるかと一緒に考えてくれたりする、という組織です。

このコミュニティ・スクールを本校も令和8年度から導入することにしました。この組織には、本校のパートナー校である厚別通小学校と厚別北小学校も参加しています。小学校・中学校と地域がつながるこのコミュニティ・スクールを4月から導入して躍動の1年につなげていこうと思いますので、皆さんにも知っておいてほしいと思います。

それでは、3学期のスタート、午年にあやかり、躍動し飛躍する年として成長していきましょう。とりわけ、4月にはそれぞれ進級や進学などが待っています。特に3年生にとって大事な進路に向けた貴重な時間の始まりとなります。新たな環境への準備も含めて、まずは今年度の集大成の学期となるよう心新たに頑張りましょう。

冬休み中に開催された大会の結果報告

【卓球部】全道選抜

<予選リーグ>

第一試合 vs 恵み野中 1-3●
第二試合 vs 桜蘭中 2-3● → 3位トーナメント進出

<3位トーナメント>

1回戦 vs 門別中 3-1○
準決勝戦 vs 北見光西中 3-1○
決勝戦 vs 北白石中 3-1○ → 3位トーナメント優勝



【卓球部】中学一年生大会

<男子シングル>

1回戦敗退…4名
2回戦敗退…5名
3回戦敗退…2名
4回戦敗退…1名
6回戦敗退…1名 → ベスト16

<女子シングルス>

1回戦敗退…4名
2回戦敗退…4名
3回戦敗退…1名

<男子ダブルス> ペア(1組) … 1回戦敗退

<女子ダブルス> ペア(1組) … 1回戦敗退 ペア(1組) … 2回戦敗退



【男子ハンドボール部】北海道中学生ハンドボール選手権大会

1回戦 vs 音更町立駒場中学校拠点校部活動 38-28○
準決勝 vs 東月寒中学校 26-29● → 全道3位

【女子ハンドボール部】北海道中学生ハンドボール選手権大会

1回戦 藤野・厚別北 vs MOTION plus ハンドボールクラブ 17-38●

【サッカー部】全道フットサル選手権大会 2026 U-14

vs SC SAPPORO U-15 0-2 ●
vs FIBRA FC 2-7 ● → 予選リーグ敗退



【吹奏楽部】第57回北海道アンサンブルコンテスト札幌地区大会

金管7重奏 → 銀賞

「厚別北中学校区コミュニティ・スクールについて」

令和8年度から、厚別北小、厚別通小、厚別北中3校によるコミュニティ・スクールがスタートします。目的は保護者と地域が「小中一貫した教育グランドデザイン」を共有して、児童生徒の学びや育ちを支え、充実した教育活動を図ることです。学校運営協議会が組織され、学校関係者・地域の代表によって、学校運営の基本方針や教育活動等が確認されます。お互いの学校の教育活動を、より深く認識することで9年間の教育活動の見通しをもつことになります。また、さっぽろっ子自治的な活動のなかで「子どもの声」を学校運営に反映させることも一つのテーマとなっており、今後、学校運営協議会において熟議していきます。

<学校評議員について>

「学校評議員」とは、学校の外の立場から学校運営に関して、校長の求めに応じてご意見をいただく方です。開かれた学校づくりの視点から、地域社会からの支援・協力を得て、本校の教育活動を推進し、よりよい学校教育を目指すために置かれている制度です。

令和7年度本校の学校評議員を3名の方にお願いしています。

よろしくお願ひいたします。